



岡山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

令和5年 1月 18日

岡山市長 大 森 雅 夫 様

フリガナ トヤマガ ヲジ ショボ ウイカイ

団体名 富山学区自主防災会

所在地

連絡先

フリガナ

代表者 役職・氏名

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	地域防災力の向上
事業実施小学校区・地区	富山小学校区
事業実施回数	新規 ・ <u>継続</u> 8回目 / 【H28年度から】
課題	※地域の実情と解決をはかりたい課題、事業実施の必要性について記載してください。 ●操山山系では、土砂災害警戒区域が多数指定されており、土砂くずれなど人命にかかわる災害が想定される ●避難所開設の実績が乏しく、地域での避難誘導・避難所自主運営のノウハウがほとんどない ●高齢化率は岡山市の平均を上回り、災害時に自力では行動できない要配慮者への支援体制が不可欠
事業の目的	※事業を実施する「目的」を記載してください。 ～ 逃げ遅れによる災害犠牲者を出さない ～ ・警戒レベル4「避難指示」で「危険な場所」から「全員」「直ちに」「立退き避難」することの周知 ・避難情報発令後の速やかな避難所開設（速やかに避難者受入れる） ・全世帯向けに向けて素早く声かけ、誘導 ・要配慮者の事情に沿った適切な支援

※具体的に実施する活動内容を箇条書きで記載してください。

(1) 防災専用回覧板による防災行動の周知

【背景】他の回覧・配布物との混在では、見ずに次に回す・捨てることがある

- ・命を守るために住民がとるべき行動を、防災専用回覧板で確実に周知する
- ・各町内会の回覧単位である組・班（令和4年5月現在348）に、防災専用の回覧板ファイルを配布する（令和5年5月予定）
- ・「とみやま防災だより」を年2回発行、全戸配布し、また「回覧用とみやま防災だより」を専用回覧板により年2回回覧し、防災情報の徹底を図る。

(2) 避難所開設支援要員の見直し

【背景】令和4年度単位町内会から開設支援要員の選出を要請したところ、町内での依頼への遠慮からか、災害発生時には町内で声かけ・誘導の陣頭指揮をすべき町内会長ほか役員が選出されるケースが見受けられた

- ・学区内各種団体から、避難所開設支援要員を募る
- ・令和5年第1四半期 学区内各種団体への避難所開設支援要員募集要請
- ・令和5年第2四半期 避難所開設支援要員に対する説明会
- ・令和6年2月18日（日） 富山学区防災訓練（避難所開設訓練）

(3) 要配慮者向けの避難所の確保

【背景】要配慮者の避難生活に向いていると思われる富山公民館を「福祉的避難所」と位置付け、要配慮者が安心して健やかに避難生活を過ごすことを目指す

- ・富山公民館に避難する住民を事前登録制とする
- ・岡山市様式「避難所利用者登録票」の提出をもって、事前登録とする
- ・避難所への移動、避難生活において手助けが必要な住民を避難対象とする
- ・必要に応じて、個別避難計画・支援計画を検討する
- ・説明会などを開催し、住民・町内会の理解を得ながら進める
- ・妊婦、乳幼児向けの避難所として、「とみやまこども園」の活用を検討する

※実施する感染防止対策の内容・方法など、具体的に記入してください。

●会議

- ・無接触検温器に検温、チェックシートによる体調チェック
- ・出席者の名簿を記録
- ・多人数による会議を控え、20名以下となるよう会議方法を工夫

●イベント（防災訓練） 上記に加えて

- ・手洗い、うがい、アルコール消毒
- ・飛沫防止仕切りの設置
- ・フェイスシールド、衛生手袋、衛生キャップなどの着用

学区・地区への広がり	※小学校区・地区より狭い範囲（単位町内会等）での事業を実施される場合は、学区・地区等への活動の広がりや課題の共有などをどのように進めていきますか。取組方について記載してください。
前年度からの見直し・拡充点	※継続事業で申請される場合は、<u>前年度の事業の成果を踏まえ、今年度の事業の改善・拡充点を記載してください。</u>また審査会での助言・コメント等について改善・拡充したこと、改善・拡充ができなかった場合は、改善・拡充ができなかった理由を記載してください。 ●防災に関する住民への周知の工夫 ・防災専用の回覧板による住民への確実な周知 ●避難所開設支援要員の拠出を単位町内会から学区内各種団体に変更 ・単位町内会は、災害発生時の町内での声かけ・誘導に尽力してもらうため ●単位町内会での活動の啓蒙・支援 ・単位町内会の役員、防災担当などを自主防災会の各種会合に陪席してもらい、単位町内会でやってもらいことの周知を図るとともに、単位町内会での活動にあたっての課題など情報共有に努める ・単位町内会に積極的に向き、講習会や勉強会の開催、会合への参画などにより、単位町内会での活動を支援する
次年度以降の予定	※今年度の事業を受けて次年度以後どのように活動を展開していくか、また資金の確保をどのように進めていくかをご記入ください。 ①次年度以後の活動計画 ・引き続き、「住民の命を守る、逃げ遅れによる災害犠牲者を出さない」を目標に、その最前線での担い手である単位町内会での活動の支援および住民への周知に努める ②資金の確保について ■次年度も区づくり推進事業を申請する予定 □（ ）年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。 資金確保の具体的な方策：
その他PRしたい点	

事業スケジュール (企画会議や反省会も含めてご記入ください。日程が未定の場合は月だけで結構です。)

月日	活動内容
4月	
5月	・自主防災会 運営委員会議
6月	・「とみやま防災だより」の回覧 ・学区内各種団体に対する避難所開設要員選出の説明会
7月	・自主防災会 運営委員会議
8月	
9月	・自主防災会 運営委員会議 ・「とみやま防災だより」の全戸配布
10月	・学区内各種団体選出の避難所開設要員 勉強会
11月	・自主防災会 運営委員会議
12月	・「とみやま防災だより」の回覧
1月	・自主防災会 運営委員会議
2月	・学区防災訓練 (避難所開設訓練)
3月	・自主防災会 運営委員会議 ・「とみやま防災だより」の全戸配布

収支予算書

収 入

単位:円

項 目	前年度決算又は 決算見込額	予 算 額	内 容
岡山市補助金	73,500	123,700	支出小計(①)/2+支出小計(②)
実施団体負担金	33,500	103,800	
参加者負担金			
協賛金			
寄附金、他収入			
収入合計	107,000	227,500	

支 出

単位:円

項 目	前年度決算又は 決算見込額	予 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	20,000	117,500	事務用品(コピー用紙、インクなど)3万円
②食糧費			防災専用回覧ファイル@250円×350個
③印刷製本費	45,000	84,000	↓下欄に内訳記載
④燃料費			
⑤光熱水費	2,000	2,000	コミュニティハウスエアコン代
⑥通信運搬費		4,000	防災だより配布(助け合い隊に委託)
⑦広告料			(@100円×全町内会×2回)
⑧手数料			
⑨使用料・賃借料			③印刷製本費 内訳
⑩原材料費			・定常的な資料印刷 20,000円
⑪委託料			・防災だより 全戸配布5500部
⑫工事請負費			A4カラー両面1枚、12,000円×2回
⑬報償費			・防災だより 回覧400部
⑭保険料			A4カラー数枚、10,000円×2回
⑮旅費			・防災専用回覧用シール 20,000円
小計(①)	67,000	207,500	
⑯新型コロナウイルス 感染症防止対策経費	40,000	20,000	アルコール消毒薬、除菌シート、ビニール手袋、マスクなど
小計(②)	40,000	20,000	
支出合計(①+②)	107,000	227,500	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください。)

補助金(3/4)の概算払いを	希望する ・ <u>希望しない</u>
----------------	---------------------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください。

- 内容欄へは使用用途等を記入してください。
- 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。